

顧客や取引先からの信頼獲得に役立つ

I S M S , P マークの  
取得や更新の課題解決策



株式会社 サイバービジネス

---

顧客や取引先からの信頼獲得に役立つ I S M S や P  
マーク。

但し、その取得や更新には、いくつかの課題があります。



# Pマーク：経済産業省のガイドラインが定める「安全管理措置」

	組織的安全管理措置	人的安全管理措置	物理的安全管理措置	技術的安全管理措置
P 計画 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人データの安全管理措置を講じるための組織体制の整備</li> <li>個人データの安全管理措置を定める規定等の整備と規定等に従った運用</li> <li>個人データ取扱台帳の整備</li> </ul>	雇用及び契約締結時における非開示契約の締結		
D 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人データの安全管理措置を定める規定等の整備と規定等に従った運用</li> <li>事故又は違反への対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員に対する教育・訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入退室管理の実施</li> <li>盗難に対する対策</li> <li>機器・装置等の物理的な保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人データへのアクセスにおける識別と認識</li> <li>個人データへのアクセス制御</li> <li>個人データへのアクセス権限の管理</li> <li>個人データへのアクセスの記録</li> <li>個人データを取り扱う情報システムに対する不正ソフトウェア対策</li> <li>個人データの移送・通信時の対策</li> <li>個人データを取り扱う情報システムの動作確認時の対策</li> <li>個人データを取り扱う情報システムの監視</li> </ul>
C 監査	個人データの安全管理措置の評価			<ul style="list-style-type: none"> <li>個人データへのアクセスの記録</li> <li>個人データ取り扱う情報システムの監視</li> </ul>
A 改善	個人データの安全管理措置の評価、見直し及び改善			



# 物理的安全管理措置の対策例

---

## ■盗難等に対する対策

→ ファイル暗号化

## ■機器・装置等の物理的な保護

→ 回線二重化対応

→ 複数拠点接続機能 (VPN)

→ UPS機能

→ 転倒防止対策

---



# 技術的安全管理措置の対策例

---

## ■個人データへのアクセスにおける識別と認識

→ パスワードポリシー設定

## ■個人データへのアクセス制御

→ ファイアウォール

→ リモートアクセス制御

## ■個人データへのアクセス権限の管理

→ 共有フォルダーのアクセス制御

## ■個人データへのアクセスの記録

→ 共有フォルダーのアクセス管理

## ■個人データを取り扱う情報システムに対する不正ソフトウェア対策

→ ウィルスチェック

→ 不正な通信対策

## ■個人データの移送・通信時の対策

→ 電子メール

→ コンテンツフィルター

→ パケットフィルター

## ■個人データを取り扱う情報システムの動作確認時の対策

→ 死活管理

→ セキュリティ・アップデート

→ セキュリティ設定情報

## ■個人データを取り扱う情報システムの監視

→ DHCP割り当て制限

→ システム情報・回線障害情報の履歴

→ RAIDによるミラーリング

---



## 3つの課題と解決ポイント

---

課題 **1** 「計画に対する根拠」を明確化

→ 個人情報情報の管理状況の把握

課題 **2** 「具体的な対策」が必要

→ 物理的安全管理措置を機能レベルで選択

課題 **3** 「証拠を提出できる」こと

→ アクセス履歴を安全管理措置の証拠資料へ

---



# I S M S ・ P マークの支援ツールとは

---

- ▶ ファイアウォールやアンチウイルスの限界を超えた「**なりすまし**」サイトに対し、有効なセキュリティ保護対策が必要です
  - ▶ どのような通信が行われているか把握するためには、UTMやセキュリティゲートウェイによる「**通信の見える化**」が有効です
  - ▶ UTM (統合脅威管理) は、ファイアウォールとVPN機能をベースに、アンチウイルス、不正侵入防衛、Webコンテンツフィルタリングといった複数のセキュリティ機能を統合的に管理することで、人材やコスト面で導入効果が高いとされています
- 
- ▶

# 支援ツールの選択の目の付け処

---

- ▶ セキュリティ機能
- ▶ オールインワン・ソリューション
- ▶ 標準レポート機能の充実
- ▶ ネットワーク規模に合わせた製品の選択
- ▶ 製品間の互換性（アップグレードのし易さ）
- ▶ スマートフォン、無線LANの認証対応
- ▶ 仮想環境への対応





# 総合セキュリティ・サービス

---

安全で適切なWebセキュリティ環境を構築、サポートし  
認証取得を支援します

- ▶ 総合的なセキュリティ診断とセキュリティ対策の提案
- ▶ UTM（統合脅威管理）やセキュリティゲートウェイの  
導入支援サービス
- ▶ 定期的なセキュリティ診断レポート
- ▶ 計画的なセキュリティ認証構築～認証取得支援サービス

ISMS導入：25千円／月×5年間

Pマーク導入：25千円／月×3年間

